



患者サポートセンター 地域医療連携だより



地域で暮らすための助け合い活動

長和町 ボランティア ゆいま〜る についてご紹介します

長和町のおたっしゃサポーターのボランティアさんたちが令和6年5月に立ち上げた「ボランティア ゆいま〜る」のみなさんにお話をうかがいました。

これまでは「ながわおたっしゃサポーター」が地域の通いの場や福祉施設などで活動していました。

しかし、サポーターの活動範囲は限定的で「もっと活動の場を広げたい」と考え8人で令和6年（2024年）「ボランティア ゆいま〜る」を立ち上げました。

現在、メンバーは12名。各自それぞれ地域の健康づくり活動を継続しながら幅広いボランティア活動をしています。

「地域のひとたちみんなが、一日でも長く、住み慣れた地域や自宅で暮らすことができるよう助け合いたい」の思いから始めた自主的な活動です。

一緒に活動する仲間や体操を楽しみに待っていてくれる方がいることが ゆいま〜るメンバーの“元気の源”です！！



みんなで楽しく活動しています



依田窪病院には月に一度訪問し、入院中の患者様と無理のない範囲で体操をしています。

体操ボランティアは「体操しよう」、「体を動かそう」と声をかけ、軽快な音楽に合わせて椅子に座ったままできる体操をしています。

「青い山脈」、「りんごのうた」、「涙そうそう」などの音楽とゆいま〜るメンバーの元気なかけ声とともに約1時間の体操やおしゃべりを楽しんでいます。



「ゆいま〜る」とは、沖縄の方言で「助け合い」や「相互扶助」を意味する言葉です。

